

速報 れんごう札幌

連合北海道札幌地区連合会

2015年11月13日発 第75号発行責任者 平野博宣 Tel011-210-0505 Fax011-210-0606

2016春闘に向けて

2015年度 賃金・労働条件実態調査へご協力を！

連合本部は10月22日の中央執行委員会で2016春闘の「基本構想」をまとめ賃金要求は「2%を基準としたベア要求」とし、全ての働く者の賃金の「底上げ・底支え」と「格差是正」に取り組むとしました。また、連合北海道は10月28-29日の第28回定期大会で「連合北海道2016春季生活闘争 基本構想(案)」を提起し、詳細は12月の闘争委員会で決定するとしています。

連合石狩地協・札幌地区連合会は12月11日の第27回・第23回定期総会の後に具体的取り組み方針を決定します。方針決定にあたり2015年度賃金・実態労働条件実態調査を実施します。既に各構成組織・単組には調査票を送付済みです。宜しくご協力方お願いします。石狩地域の2016春闘では昨年同様に春闘実行委員会を立ち

上げ各行動を推進する予定です。昨年は256組合が春闘交渉に参加しました。その背景には賃金・労働条件実態調査の取り組みを通じた一体感の醸成があります。今年も多くの参加を実現し2016春闘勝利へ取り組みましょう！また、11月4日厚生労働省は

「不本意非正規減」見解に異議！

平成26年「就業形態の多様化に関する総合実態調査」の内容を公表しました。同調査では非正規社員の割合が40.5%に(4年前より1.8ポイントUP)達したものの非正規社員を選んだ理由のうち「自分の都合の良い時間に働ける」が37.9%(-0.9P)と前回より減少し不本意非正規は減ったとしました。とんでもない解釈です。実態把握に努め格差是正を実現しましょう。

二〇一五年度 越冬手当・燃料手当交渉

北海道地域の生活改善闘争! 情報共有でガンバロウ!

越冬手当・燃料手当は、戦前から私たち北海道の厳しい冬を越すための生活支援制度として定着してきたもので、越冬関連生計費として広く認知されています。しかし近年は本州に本部事業所を配置する企業などの労使から同手当を廃止に関する相談がけ増えています。地場組合(連合未加盟)からも燃料手当交渉について相談が寄せられます。何れも、労使慣行を反故にしてコスト削減や本州勤務者との均等待遇を理由とするものです。本年は現在のところ原油価格が安定し灯油の安値が維持されています。こういう状況下では越冬に関する生活関連手当支給すべきです。冬期間の生活は雇用形態に関係なく一定水準の準備は必要です。格差是正・生活水準の向上実現のためにも団結を固め取り組みましょう。現在、地場では、札幌地域労組、私鉄総連及びサービス連合

等から交渉状況の報告が寄せられています。内容は別紙(閲覧希望の場合別途問い合わせください。)のとおりです。当事務局では今後も交渉状況の集約を継続します。可能な限り情報提供にご協力をお願いします。

【2015年度越冬手当・燃料手当交渉状況報告要請】

要求内容・回答妥結内容等の報告をお願いします。

送付先：連合北海道石狩地域協議会

Fax 011-210-1213

連合北海道札幌地区連合会

Fax 011-210-0606

メール：spk-chiku-union@mse.biglobe.ne.jp

担当：副事務局長 山本 功

電話：011-210-1212/011-210-0505

期日：12月10日まで